

ふじやま だより

第18号

発行 2004年

6月15日

本郷

ふじやま公園

運営委員会



新会長挨拶

本郷ふじやま公園運営委員会
会長 保坂 順弥

この度、本郷ふじやま公園運営委員会の会長に選ばれました、保坂 順弥でございます。

地域の代表ということで元第三地区連合会会長の山口 香様の後を受け5月19日の運営委員会総会において会長職を引き継ぐことになりました。宜しく願いいたします。

公園も今年で2年目に入りました。里山と古民家・工作棟など多目的な施設を持ちます公園は市内でも数少ない施設であります。

旧小岩井家住宅は市の指定文化財でもあり、栄区の貴重な遺産として次世代に引き継いで行けるよう管理運営に努めたいと思っております。

公園にはボランティアの人たちで組織しております5つの事業部会があり、それぞれ献身的な活動を続けていただいております大変感謝いたしております。

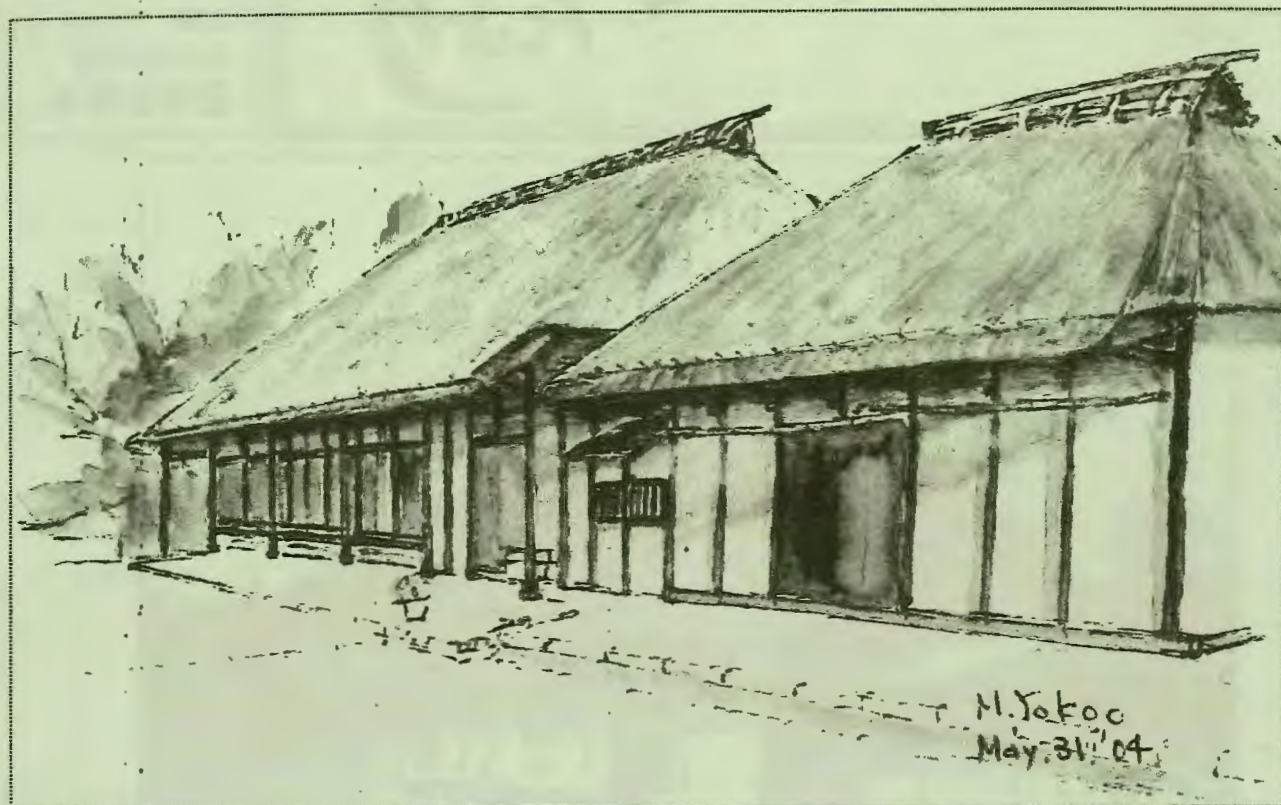
部会は季節に合った事業計画で、市民の皆さまに楽しんでいただける行事や憩いの場づくりに努めております、特に今年は公園の資源を利用して、親子で楽しめる夏休み教室も計画いたしております。主な行事は広報にてご案内しておりますので是非ご参加下さい。

来園者の声を大切に、地域の皆さまのご協力もいただきながら、緑政局・栄区役所と共に協働したいと思っております。

多くの皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

都筑区民家園(旧長沢家住宅)

古民家スケッチめぐり (その2)



広報部会 横尾 正孝

横浜市歴史博物館野外施設である「都築民家園」は市営地下鉄「センター北」駅から、徒歩8分程の所にある、「大塚・歳勝土遺跡公園」内の一面にあります。江戸時代中期頃の建物である旧長沢家住宅を移築復元したもので、主屋と馬屋の棟が平行になった武蔵南部地域の特色を持つものです。

民家園内には、主屋、馬屋、管理棟等の諸施設の他に、庭や池が配置され、当時の都築の農村の雰囲気を感じ出しています。

民家園に1歩足を踏み入れた瞬間、何かほっとするような感じがしたのはその雰囲気のせいかもしれません。この日は土曜日の午後とあって、子供連れの家族の来園者を多く見られましたが、平日には博物館に来た小学生の来園が大変多く、物珍しそうに母屋、馬屋を覗き込んでいる姿が何とも愛らしいそうです。母屋の中から、楽しそうな声が聞こえます。

「さて、さて、…さても、南京玉すだれ…」

「南京玉すだれ愛好会」の練習の最中です。子供を交えた十四五人の男女が嬌声と共に、器用にすだれを操っています。ここでは母屋を使ったイベントが盛んで、都築民家園愛護

サークルが企画運営している会が多数あります。「お父さんクラブ」「わらべの会」また「民家園いろいろ端シネマ」ではいろいろ端での日本各地の伝統文化の紹介がビデオプロジェクターで行われるそうです。中田市長の直筆の額でしょうか

【都築民家園に 民の力 あり】

この民家園を中心に、地域の多くの人が和んでいる様子が、事務局の人の熱心な語りの中に、十分感じられました。帰路に覗いた夕暮れの竪穴住宅ゾーンには訪れる人もなく、遠くにかすかな夕焼けが見えました。



よく似ているキンシバイとビョウヤナギ(花暦その2)

里山部会 宗森 英夫

公園内の古民家に沿った園路の縁に、5月下旬から7月初旬にかけて、鮮やかな黄色い花径3～5cmの花が咲きみだれる。キンシバイ(金絲梅)とビョウヤナギ(美容柳)である。どちらも中国原産のオトギリソウ科の半落葉小低木で、高さ1m内外で、何気なく見ていると同じように見える。しかし、注意深く見ると、かなり違う。

どちらも花弁は5弁だが、キンシバイは 前の通り梅の花のように円形の花弁がともえ状に重なりあっていて、おしべは花弁より短い。ビョウヤナギの花弁は倒卵形で付け根の方が細くなり、おしべは花弁より長い。葉は、どちらも葉柄がなく対生にのくが、キンシバイは卵状長楕円形で長さ2cm前後であるのに対し、ビョウヤナギは長楕円状皮針形で長さ4cm前後ある。(右図参照)



古民家の生活(2)

広報部会 相原 雅夫

「蠟燭の試作」

昔、小岩井家からどこかに献上するために蠟燭を試作したことがあるそうです。当時の蠟燭は「はぜ」の木から作ったのかもしれませんが。「はぜ」の木はうるし科の植物です。今でもふじやま公園の頂上に行く園路に5～6本あります。当時多くの人、高価な和蠟燭はなかなか使えなかったようです。

蠟燭の炎を見つめていると気持ちが落ち着きます。癒しの効果があるともいわれています。滋賀県にある和蠟燭の会社のホームページに依れば、今では「はぜ」は主に九州地方で採取されていて、「はぜ」100%の和蠟燭が一番きれいに燃えるそうです。

いろりの楽しみ

いろり守の会 炉山人

いろり守は、いろりの煙で屋敷全体をいぶし、建物を腐敗、虫害から守るのが本来の使命です。しかし、どんな仕事にも、その中に楽しみ、面白さというものがないければ、長続きするものではありません。

あの火の色を見るのは一つ目の楽しみです。懐かしい、煙の香を嗅ぐのは二つ目の楽しみです。そして、火の色を見れば、いろんな事をしゃべりたくなります。自らしべり、また、人の話を聞くのは三つ目の楽しみです。

いろりを囲んで、芋を焼いたり、串刺しの魚を焼いたりして、昔の暮らしが体験できる場にすることができれば、これは無常喜びとなるでしょう。

ものわすれ するを常なる老人も
昔がたりは たがへざりけり
明治天皇御製

いろり守の会では会員募集中です

7月のいろりの焚火の日

7/6(日), 7/9(水), 7/13(日),
7/20(日), 7/24(木)

入会希望の方は、上記いずれかの日に公園古民家のいろり端まで、お出掛け下さい。
詳細は、その際説明させていただきます。

催し物

教室名	日時	内容	定員	材料費	締切
七宝焼	7月8日(木) 13時～16時	チョーカー	10名	¥700	6月30日
粘土工芸	7月16日(金) 13時～16時	樹脂粘土で作る花の ブローチ	12名	¥500	7月5日
第七回 茶道体験	7月17日(土) 13時～16時	お茶の作法を体験。 (道具用意不要、気軽な 服装で、初心者歓迎)	12名	¥500 (茶菓子代)	先着順 定員になり 次第締切
里山のそば 打ち塾	7月24日(土) 10時～13時	手打ちそばを 打つ	12名	¥700 (そば仕上 がり3人分)	6月30日

- (1) 定員 : 応募者多数時抽選(但し、茶道体験は先着順、定員になり次第締切)
 (2) 応募要領 : 往復ハガキに、教室名、氏名(ふりがな)、〒、住所、電話番号を書いて
 本郷ふじやま公園へ

ご案内

* 七夕祭り

7月5日(月)～10日(土) 13時まで 七夕飾りを立ててお祭りをします。
 7月6日(火)は15時より古民家土間の入り口に、ご来園者の皆様による手作りの
 「願い事」を書いた短冊や飾り物を二本の笹に飾り付けます。お子様の参加も大歓迎です。
 皆様おそろいでお出かけ下さい。 七夕祭りプロジェクト

* お月見(予告)

9月25日(土) 雨天の場合 9月26日(日) 15時～20時(詳細は別途)

お知らせ

- ・休館日 : 7月7日(水)
 ・クリーンアップ作業日 : 7月6日(火)、7月20日(火) 10時～11時



古民家ゾーン ご利用案内

- ◎開館時間 : 9:00～17:00
 ◎休館日 : 毎月第1水曜日(祝日の場合はその翌日)
 ◎入館料 : 無料



- ◆ 本郷ふじやま公園運営委員会
 〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷1-20
 Tel: 896-0590 Fax: 896-0593
 ◆ 緑政局中部公園緑地事務所
 Tel: 711-7802 Fax: 712-6260